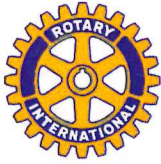


# WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB



## Weekly Report

VOL. 11 No. 23 TOTAL 457 平成 21 年 2 月 2 日 第 475 回例会

[例会日] 毎週月曜日 12:30~13:30

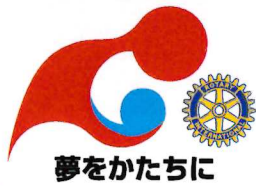
[例会場] 和歌山市湊通り丁北2-1-2 アバローム紀の国

[事務局] 和歌山市雑賀屋町52 南方ビル2階(〒640-8249)

TEL073-435-3470/FAX073-435-3472

E-mail: wa-az-rc@naxnet.or.jp

会長/田端 順造 [会報委員]  
副会長/島 和代 ○石橋 暎子 ○吉岡 恵美  
幹事/松田美代子 北畑 米嗣 白神 修次 福辺 昌紀



### 2008-09年度 国際ロータリーのテーマ 「夢をかたちに」

国際ロータリー会長  
ドン カン リー

### 会長報告

会長 田端順造



本日は、「ロータリー理解推進月間」1月最後の例会です。地区職業奉仕委員長で、泉南RC所属の角谷浩二さんにお越しいただき、「四つのテストの意味」について卓話をいただきます。よろしくお願いいたします。

さて、先週配布されました「ロータリーの友」1月号に、昨年11月に開催され「ロータリー研究会」で、李東建RI会長が「会員増強こそが一番大切なこと。」「夢をかたちにする仲間を増やそう。」と、次のように述べられています。

私たちが目的を達成する上で新しい会員を入会させるということは、新しい手、新しい頭脳、新しい心が、私たちの勢力の中に入ってくるということで、ロータリー家族のことを考えると、若い世代によって私たちは更にロータリーに活力を与えられその必要があること。そして、「一番強いロータリークラブは、年齢・性別・職業・技能の多様性をもったクラブである。」と強調されています。

当クラブにおいても、更なる活性化が必要であります。会員一人一人が現状を十分認識し、行動を起こしていくことが求められています。当クラブの特徴で、セールスポイントでもある「女性会員」の減少傾向は、大きな問題です。ぜひ、復権を図っていただくように、在籍3年以上で会員未紹介の会員さんからの、強力な後押しをお願いします。

「現状認識と責任」「一人一人の自覚」「義務を果たす」「自信をもって乗り越えていく」「勇気をもって頑張ろう」「我々にはできる」・・・オバマ大統領就任挨拶の中に出てきたことですが、クラブの活動や、事業の運営に大変参考になる文節かと思料し、列挙させていただきました。

### 2008-09年度 アゼリアロータリーのテーマ 「人に喜びを与えるロータリアンになろう。」 「海外に姉妹クラブをつくろう。」

#### 〈本日の例会〉

- 第475回例会 2月2日(月)
- ☆ 誕生会
- ☆ 内部卓話 福西 正人会員
- 【2009年投資環境<100年に一度の危機から離脱の年>】

#### 〈次回のお知らせ〉

- 第476回例会 2月12日(木)
- ☆ 城南ロータリークラブとの夜間合同例会
- 場所: アバローム紀の国
- 時間: 午後6:30より

#### 〈前回の例会記録〉

- ロータリーソング R-O-T-A-R-Y
- ゲスト紹介 2640地区 職業奉仕委員長 角谷浩二様
- ビジター紹介
- 出席報告 会員数42名  
本日の出席(1/26) 34名 80.95%  
前々回修正出席(1/5) 33名 78.57%
- メイキャップ

#### ●市内8ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内容
和歌山北	2月 2日(月)	クラブフォーラム「世界理解月間に因んで」
和歌山	2月 3日(火)	新入会員卓話
和歌山東南	2月 4日(水)	外部卓話「世界遺産・高野山町石道での紹介と保全について」
和歌山西	2月 4日(水)	卓話「不況なときでも元気な会社!」
和歌山東	2月 5日(木)	
和歌山城南	2月 5日(木)	クラブフォーラム「四大奉仕部門~上半期活動報告・下半期活動計画~」
和歌山南	2月 6日(金)	
和歌山中	2月 6日(金)	クラブフォーラム 卓話「世界社会奉仕について」

#### 〈四つのテスト〉 言行はこれに照らしてから

- I. 真実かどうか
- II. みんなに公平か
- III. 好意と友情を深めるか
- IV. みんなのためになるかどうか

次に、23日(先週金曜日)に「木潮会 = モクチョウカイ」へ、中村次年度幹事と共に出席してきました。この会合は、市内の9クラブとマスコミとの情報交換と親睦を目的に、5年位前から年に一度開催されています。当クラブでは、新聞・ラジオ・テレビ各社に、十分な人脈を持っていますが、アゼリアのPR機会ととらえ実践してきました。

## 幹事報告

幹事 松田美代子



もうすぐ1月も終り暦の上では春が近づいて来ておりますが、まだまだ寒さも続き、インフルエンザの流行も気になる所であります。皆様、手洗い、うがいはもちろんですが睡眠を十分に取る様にお気をつけ下さい。

○合同例会のお知らせを致します。

2月12日に城南ロータリークラブとの合同例会を行います。2月12日(木)の午後6時30分からの夜間例会となります。市内のクラブとの友好を深める為にも大切かと思えます。たくさんの方のご出席よろしくお願い致します。詳しい内容は後日Fax致します。期日までにお返事を事務局までによりしくお願いします。したがいまして9日(月)の例会はございませんので、おまちがない様に願います。

○平成20年度の地区大会のDVDが届いております。粉河ロータリーの平原ガバナー年度分です。全会員一人一人にございますので、ぜひご覧になって色々ご活用下さい。

○本日は国際親善奨学生のカテリーナ・イエローさんにも例会に来て頂いております。2月例会で卓話お願いしております。

## 表彰

ポール・ハリス・フェロー表彰

島 和代 会員	4回目
辻 曙生 会員	3回目
山田 茂 会員	初回

以上3名の会員に証明書と襟章が授与されました。



## 委員会報告

◎アゼリアバンド報告

福本恒夫会員



2/14(土) IM5組からの要請で、富田林市民会館においてIM5組の中でボランティア演奏を行います。今回は新しくミキサーとして山田会員の会社の社員さんで川田さん、三味線で柴田会員、ボーカルの一人として辻会員のお孫さんが参加くださいます。

和歌山アゼリアRCの名に恥じないよう一生懸命練習をしまして頑張りますので、皆様、機材の運搬やビデオ撮影等何でもご協力をよろしくお願い致します。

## 卓話

「フォアウェイテストとは何か」



第2640地区職業奉仕委員会

委員長 角谷浩二様

まず、「フォアウェイテストとは何か」から説明させていただきます。この言葉は、商道徳高揚のスローガンでも、標語でもありません。それは、物事を判断するときの基準なのです。つまり「物差し」なのです。自分が何がしかの商行為に出る前に、それが正しいかどうかの判断を下すための基準なのです。

THE FOUR-WAY TEST

Of the things we think, say or do

1. Is it the TRUTH
2. Is it FAIR to all concerned
3. Will it build GOODWILL and BETTER

## FRIENDSHIPS

### 4. Will it be BENEFICIAL to all concerned

#### Is it the TRUTH 《真実かどうか》

まず TRUTH という言葉は「真実」と訳されていますが、これはよく「人の行為や言葉に対して、真実を確かめることは至難の業である」という批判を耳にいたします。しかし、ここで言っている「the TRUTH」とは「自分が何がしかの商行為に出る前に正しい判断を下すための基準」ということから考えれば、他人の言動を判断するのではなく、自分の言動に対して「うそがないか、偽りがいないか」と判断すべきです。自分の商品に対して「それは事実か」「うそ偽りは無いかどうか」「それは本当かどうか」というように表現されるべきであり、つまり、「自分の商品にうそ偽りは無いかどうか」とするべきであると思われます。例えば、中国産のうなぎを国産と偽って販売することや、事故米を混ぜて販売するようなことはしてはいけません。これから生産するものや、販売するものに対して、事実のみを語らなければいけないのです。

#### Is it FAIR to all concerned 《みんなに公平か》

ここにおいて「FAIR」の和訳が問題になります。「公平」と訳されていますが、公平とは、「全てのものを同じように扱う」という意味にとられ、「商売や、事業において競争をしてはいけない、不平等な取り扱いをしてはいけない」と誤解される言葉なっております。公平という英語は「impartial」にあたります。これは FAIR の一部であり FAIR そのものではないと思われます。ここでの FAIR は「公明正大」「正々堂々」という意味合いが強く、フェア・トレード（公正な取引）の意味として取り扱われるべきであり、「公平」ではなく「公正」とすべきであると思われます。「公正取引委員会」という言葉がありますが、これは不正な取引を取り締まるものであり、ここでの意味はこれに当たり、自分の取引は正しいかどうかなのです。例えば、建築業でいえば談合などしていないかどうか、賄賂を贈って取引

をしようとしてはいないかなのです。優良取引先とそうでない取引先を分けて考えるのは当然のことであり、何ら不正はないのです。ディスカウント店は大量に仕入れるために安く仕入れることができ、それを適正な利益をつけて消費者に売るのは公正な取引です。これには何ら問題はないのですが、しかし安く仕入れたからといって、売れない商品と抱き合わせで売るといった行為や、客寄せのために仕入値で売るといったことは、これは公正な取引とはいえません。

また「to all concerned」が簡単に「みんな」と訳されていますが、「みんな」であれば「to all」だけでよく、「concerned」という訳が省略されています。「concerned」とは「かかわりのある、利害関係のある」という訳がありますから、ここでは「取引先」を意味しております。ですから、この訳としては、「全ての取引先に対し公正かどうか」とすべきではないかと思われます。

### Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS 《好意と友情を深めるか》

ここでの「build GOODWILL」は「好意を深める」と訳すのではなく、「GOODWILL」には「信用」という訳がありますから、自らの「信用を高める」と捉えるべきです。「BETTER FRIENDSHIPS」は「友情を深める」と訳するのではなく、「人間関係を築き上げる」とすべきだと思われます。ですから、この訳としては、「商取引によって自らの信用を高め、取引先との人間関係を築き上げるかどうか」とすべきではないでしょうか。

### Will it be BENEFICIAL to all concerned 《みんなのためになるかどうか》

BENEFICIAL は「有益な」という訳がありますので、ここでは利益を意味します。また、ここにおいても to all concerned が単純に「みんな」と訳されていますが、ここも 2 番目と同様に、「取引先」と訳すべきでしょう。故に、「取引先に対して有益になるかどうか」と訳すべきだと思われます。つまり、自分の商品が売れて利益を得るが、しかし売り

手だけが利益を得るのではなく、取引先も利益を得なければならない。「商取引によって売り手も買い手も利益を得なければ公正な取引とはいえない。」と言っているのです。

最後に前文の「THE FOUR-WAY TEST Of the things we think, say or do」について述べさせていただきます。

日本語訳として「4つのテスト 言行はこれに照らしてから」と訳されておりますが、「Of the things we think, say or do」において「think」の訳が脱落しております。前にも述べているようにハーバート・テラーは「自分が何がしかの商行為に出る前に正しい判断を下すための基準」であり、「自分の心の中で考え、何が一番大切であるかを判断する物差しである」と言っております。「自分の言動を考え、正しいかどうか」というようにすればいいのではないのでしょうか。

次に「THE FOUR-WAY TEST」ですが、この「4つのテスト」という言葉はもう何十年にもわたり日本のロータリークラブで使われてきた言葉です。いまさらどうのこうのという問題ではないのですが、ここで勘違いしてはいけないことがあります。それは、THE FOUR-WAY TESTを「4本の道がありますよ」と解釈してはいけないのです。もし4本の道であったならば、WAYがWAYSというように複数形になっていなければなりません。ここでは単数形になっており、しかもFOURとWAYの間にハイフンがついております。辞書によりますと「四方に通じている」とあります。つまり「四つ辻」です。一本の道なのです。ですから、4つの基準を一つか二つクリアーするだけでいいのではなく、4つ絡めたものを全てクリアーしなければなりません。4つの言葉は4つ束ねた一つの言葉として理解しなければいけないのです。ロータリー綱領がTHE OBJECT OF ROTARYと単数形になっているのと同じ意味があります。

私の考える4つのテスト

「4つのテスト 自分の言動を考え、正しいかどうか」

- 1、商品にうそ偽りが無いかどうか
- 2、全ての取引先に対し公正かどうか
- 3、取引によって自らの信用を高め、人間関係を築き上げるかどうか
- 4、全ての取引先に対して有益になるかどうか

以上が私の4つのテストに対する考えです。

私は、日本において現代使われている「4つのテスト」を否定するものではありません。新入会員がロータリーで始めて目にするのがこの「4つのテスト」です。ロータリアンの「人生訓」としての役割も背負っているのがこの言葉です。誰しもが理解できる簡潔な素晴らしい名訳です。しかし、疑問に思っている人もおられます。ハーバート・テラーが作ったTHE FOUR-WAY TESTは、あくまでも企業再生を目的として作られたものです。極めて現実的な基準であり、商取引にのみに適用されるように作られたものです。ですから、一般社会で適用するには少し無理があるように私は思っております。

#### S・A・A報告 【3つの箱】

##### \*ニコニコ箱

田端順造会員 地区職業奉仕委員長の角谷さん、本日はようこそお越し下さいました。卓話をよろしくお願ひ致します。

坂部美智子会員 新年会お休みしてすみません。今年もよろしくお願ひします。

田原サヨ子会員 お誕生日のお祝ひありがとうございます。今年もどうぞよろしく。

本日合計額 9,000円 今年度累計額 811,000円

##### \*ロータリー財団

坂部美智子会員 田原サヨ子会員

本日合計額 7,000円

##### \*米山奨学

坂部美智子会員 田原サヨ子会員

本日合計額 7,000円